

# 東北総通 防災セミナー

## 『NHKアナウンサーの 命を守る呼びかけ』

NHK仙台放送局 コンテンツセンター アナウンス  
「**てれまさむね**」キャスター 岩野 吉樹

2022年12月13日（火）

**NHK**

NHKアナウンサー  
命を守る“防災の呼びかけ”

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/yobikake/>

(9月1日に公開)

「命を守るよびかけ NHK」で検索

(ページをご覧になりながら話をお聞きください)



NHKアナウンサー  
命を守る“防災の呼びかけ”



- 地域の防災・減災への活用を想定した命を守る防災の呼びかけを公開※
- 大雨を想定した38の呼びかけ文言やAI音声合成による音声ファイル

※公開データをご利用の際は、Webサイトの「ご利用にあたって」をご確認ください

## 大雨に対応する呼びかけ



### 雨が強まる前に

豪雨災害は、事前の備えが十分可能です。ハザードマップや避難ルートを確認する。避難所への避難が在宅避難かを検討する。気象や避難の情報を得られるようにしておく。敷地の片づけや備品の補充をしておく。できることはたくさんあります。「自分が被害にあうことはないだろう」という思い込みをなくするため、対策を呼びかけましょう。



### 雨が降り続いていて、降り方が強まったら

避難を呼びかけるラストチャンスかもしれません。状況が悪化する前に、行動を促して下さい。川沿いや斜面の近くに住む方は、特に注意が必要です。雨の降り方によっては、避難所への避難がかえって危険な場合もあります。在宅でも危険な場所から離れて過ごすよう伝えます。災害を経験した多くの方が、「あつという間に状況が悪化した」と語ります。手遅れになる前の呼びかけが重要です。



### 非常事態を伝える

災害の危険が迫る時、それは生き抜くための手立てを考えるフェーズです。呼びかける側は、災害が差し迫っていたり既に発生したりしていることを、切迫感をもって伝えます。一方で、慌てず正しく行動できるように具体的な冷静に伝えることも大切です。ご自身の安全も確保し、命を守る言葉を届けて下さい。

### 自治体・気象庁からの情報

災害の危険度などに応じて、自治体や気象庁からさまざまな情報が発表されます。情報が出た際は、この呼びかけ文言をあわせてお使い下さい。また、その時々雨の降り方を見て「雨が降り続いていて、降り方が強まったら」「非常事態を伝える」の呼びかけ文言を組み合わせ、身近な人が適切に行動できるよう呼びかけて下さい。

※自治体や気象庁が発表する情報は、ここに記載のものが全てではありません

## 大雨に対応する呼びかけを4つのフェーズに分けて掲載

### 呼びかけの音声データ

#### 呼びかけの見本

雨が強まる前に地域のハザードマップを確認するなど、近くに危険な場所がないか確認して下さい。

▶ 0:00 / 0:08 [ダウンロード](#)

いつでも避難できるよう準備をするとともに、危険を感じたら自主的に避難を始めましょう。

▶ 0:00 / 0:07 [ダウンロード](#)

### 呼びかけのテキスト

防災の呼びかけを、自由に活用してください

[テキストデータ\(CSV\)をダウンロード](#)

[PDFをダウンロード](#)

[公開について](#)

[ご利用にあたって](#)

### 呼びかけのポイント説明動画



- 災害発生前や発生時における行動  
意識することを呼びかける
- 大雨の際に活用できる38の文言
- 「テキストデータ」「PDF」  
「AIアナウンスによる  
音声ファイル」を公開・DL可

**【本日】 大雪バージョンを公開！！**

- ▼防災行政無線の文言の参考にする
- ▼広報車でAIアナウンス音声を流す
- ▼エリアメール・SNSで呼びかけを発信
- ▼災害マニュアルの作成・改訂に活用
- ▼地域の防災ミーティングなどで共有
- ▼商業施設、学校、地域メディアの放送に  
⇒呼びかけの様々な活用を勧奨、支援し  
地域の防災力向上に貢献  
公共メディアとして地域の皆様と協働を

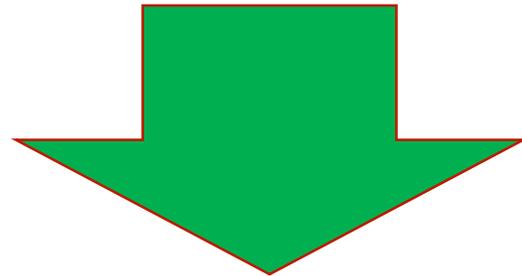


- ▼原点は2011年3月の東日本大震災
  - ・地震発生から津波到達まで  
時間的猶予あったが多くの人が犠牲に
  - ・どう情報を伝えれば人は逃げるか  
どんな言葉なら人の行動を促せるか
  - ・震災の経験と教訓を踏まえ  
1人でも多くの命を守ることを目指す  
⇒被災者や専門家への取材・調査を重ね  
呼びかけ文言を作成、蓄積



# きっかけは「東日本大震災」

- ・ “冷静に・客観的に” – 従来手法の限界



「避難・減災のために もっとできることは—」

 NHK全体で議論が高まる

## “具体的・直接的に”

### ・“何に注意？”“適切な言葉は？” 取材・議論

「地震・津波から命を守る呼びかけ」 作成

👉 全国のアナウンサーに配布・使用開始

・「助かってほしい！」 願いを込めた言葉

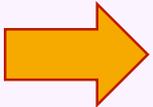
👉 しかし…誤解やパニック、ミスリードは×

専門家や地域住民に取材 = 「根拠ある言葉」

以後 「豪雨」「大雪」「熱中症」なども作成

 全国のNHKの放送で活用

「起きた被害を伝える」

 「被害が起きないように」事前防災・減災

- ・ 多方面から同様に呼びかけた方が効果大なのでは??

 公開／ご活用を!!!

公開した「呼びかけ」  
～大雨～

**NHK**

## 今回公開した内容

災害の切迫度で使い分け

『雨が強まる前』

『雨が降り続いていて、降り方が強まったら』

『非常事態を伝える』

“タイムライン” のイメージ

情報が出た際にあわせて

『自治体・気象庁（台）からの情報』  発表にあわせて

【いつ?】

- ・ 豪雨／台風接近の予測・予報が出ている

 最悪期の1～3日前くらい

【何を伝える?】

- ・ ハザードマップの確認／周辺の片づけ・備え

 備えの確認／心構え

【ポイント】

- ・ 「“最悪期になってからでは間に合わない” こと」を伝える  
『頭・心・備蓄品』の整理とチェックポイント

W e b 画面で説明  
「雨が強まる前」

# NHK

動画は以下のページから視聴下さい。

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/yobikake/phase01/>

【ポイント】

- ・ 冷静に 丁寧に 「チェックポイント」 を伝える  
 トーンを上げすぎない / いつものトーンで

【心理的には…】

- ・ 「今のうちにしておいてくださいね」 の気持ち  
 “このあと事態は悪化しますよ” と言外に

【ポイント】

- ・ 「呼びかけを始めること」 がターニングポイント  
情報発信者の側の “警戒ギア” を一段上げる

最悪期が近い  避難のタイミング

【いつ?】

- ・ 台風の雨雲かかり始め / 線状降水帯予測情報…

 約半日～1日以内に深刻な状況になる可能性大

【何を伝える?】

- ・ 避難行動を促す / 「さらに状況は悪化する」

【ポイント】 「今が安全に避難できるラストチャンス」

“最悪期には逃げられない” という危機感を!

W e b 画面で説明

「雨が降り続いていて、  
降り方が強まったら」

# NHK

動画は以下のページから視聴下さい。

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/yobikake/phase02/>

「災害の可能性が高まっている」  
+ 「このあとさらに状況は悪化する」

- ・ 「いつもと違う状況」を感じ取ってほしい！  
👉 「いま避難しないと危ない！」願いを言葉に込めて

【ポイント】 はっきり／強めの 口調で

☆いつもより 2段階くらいギアを上げるイメージ

最悪期のさなか  
命 最優先！なんとかしのいで！

【いつ？】

- ・ 台風本体の影響下 / 「レベル5」 (可能性も含)

 深刻な状況になっている / 被害発生？

【何を伝える？】

- ・ 「外への避難は難しい」 / 「いまできる範囲で最善の策を」

【ポイント】 「状況は深刻」でも…「今から屋外避難は危険大」

「深刻さを伝える」「冷静な判断を呼びかける」を両立

Web画面で説明  
「非常事態を伝える」

# NHK

動画は以下のページから視聴下さい。

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/yobikake/phase03/>

- 「最も危険な状態」「事態が切迫している」のでトーンを上げる  
👉 しかし…この状況下でできることは限られる

【いつ?】 「深刻な状況になっている」「被害発生?」

- 台風本体の影響下 / 「レベル5」 (可能性も含)

👉 「無理な行動しないで」という願いも込めて

【何を伝える?】

- 「外への避難は難しい」 / 「いまできる範囲で最善の策を」

「あなた」「ご家族」などより自分事に感じる言葉

W e b 画面で説明  
「自治体・気象庁からの情報」

# NHK

動画は以下のページから視聴下さい。

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/yobikake/phase04/>

## ・アレンジも可

 季節・地域特性・具体的地名を加える など

## ・公開されているAI音声やアナは“一例／見本”

 地元の言葉・親しみある人の言葉は“届く”!

### 【ご注意!】

・公開文言は「専門家に取材し根拠に基づいた表現」

 言葉自体を変えすぎないようにお願いします

きょう公開した「呼びかけ」  
～大雪～

**NHK**

## 今回公開した内容

## 災害の切迫度で使い分け

『大雪の予報が出たとき』  事前の備えの確認！

- ・「雨が強まる前」と同じ使い方
- ・「大雪の危険性」 周知のギアを上げる

『大雪になった時』  危険を回避して！

- ・『雨が強まった時』と同じ使い方
- ・雪下ろし・ドライバーなどに直接的な呼びかけ

「慣れ」が慢心につながる」危険性にも言及を！

## ▼“常に最悪を想像する”（今が最悪ではない！）

- “この後さらに事態は悪化するのでは？”
- “早めの呼びかけ”
- “雨と合わせて地震が起きたら？”
- “複数の川で増水 + 避難路が冠水”していたら？

※令和元年の台風19号 台風本体の雲がかかる前から  
強雨が長く降り 川が増水していた → かなり危険だ！！！！

## ▼生活・季節感・気象を勘案する

- 寒さは？暖房器具は？灯油はもつ？電気は？  
山道や川の近く…どうすれば安全に避難できる？

地域の皆さんと一緒に  
より充実させていきたいと  
考えています。

- ・こんな活用を考えている
- ・こんなアレンジをしてみたい
- ・こんな文言があれば

ご意見、ご要望はありませんか？

**NHK**

実際に活用した際には、  
ぜひNHKにご連絡を！

地元ならではの「呼びかけ」を  
育てていきましょう！

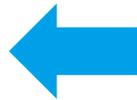
**NHK**

- ▼防災・減災の取り組みにご活用下さい
- ▼営利目的で利用することはできません
- ▼利用の際はNHKからの出典である旨の記載、紹介を  
例) 出典：NHK「防災の呼びかけ」  
※音声を利用する場合はその限りではありません
- ▼データを編集、加工した情報を利用する場合は  
その旨の明記を  
⇒詳しくはサイトの [\[ご利用にあたって\]](#) をお読み下さい

ご質問は  
ありませんか？

**NHK**

⇒災害時、身近にいる大切な人の命を守るため  
一人ひとりが呼びかけを意識する防災社会を



命を守る防災の呼びかけサイト  
是非、アクセスしてみてください